



## 2024年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月13日

東・福

上場会社名 株式会社大分銀行

上場取引所

コード番号 8392

URL <https://www.oitabank.co.jp/>

代表者（役職名）取締役頭取

（氏名）後藤 富一郎

問合せ先責任者（役職名）執行役員総合企画部長

（氏名）浜田 法男

（TEL）097-534-1111

四半期報告書提出予定日 2023年11月27日

配当支払開始予定日

2023年12月8日

特定取引勘定設置の有無 無

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

## 1. 2024年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

## (1) 連結経営成績

（%表示は、対前年中間期増減率）

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期中間期	37,331	△1.8	4,411	△1.2	3,210	12.8
2023年3月期中間期	38,017	35.7	4,464	△5.5	2,845	△21.1

(注) 包括利益 2024年3月期中間期 7,479百万円( -%) 2023年3月期中間期 △10,841百万円( -%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期中間期	203.31	202.01
2023年3月期中間期	180.35	179.33

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期中間期	4,458,247	194,258	4.4
2023年3月期	4,324,388	187,520	4.3

(参考) 自己資本 2024年3月期中間期 193,937百万円 2023年3月期 187,205百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権－期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。

なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	40.00	—	50.00	90.00
2024年3月期	—	45.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	45.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通 期	68,100	△6.6	8,100	3.9	5,400	△0.2
						341.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当中間期における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期中間期	16,243,634株	2023年3月期	16,243,634株
② 期末自己株式数	2024年3月期中間期	442,609株	2023年3月期	460,533株
③ 期中平均株式数（中間期）	2024年3月期中間期	15,792,931株	2023年3月期中間期	15,778,966株

(個別業績の概要)

1. 2024年3月期第2四半期（中間期）の個別業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

(1) 個別経営成績 (%表示は、対前年中間期増減率)

	経常収益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期中間期	31,768	△3.2	3,743	△5.7	2,769	△10.9
2023年3月期中間期	32,825	43.2	3,971	△3.3	3,108	△3.1
	1株当たり 中間純利益					
	円 銭					
2024年3月期中間期	175.35					
2023年3月期中間期	197.03					

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期中間期	4,441,266	178,565	4.0
2023年3月期	4,308,521	172,288	4.0

(参考) 自己資本 2024年3月期中間期 178,311百万円 2023年3月期 172,042百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権)を期末資産の部合計で除して算出しております。  
 なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 2024年3月期の個別業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	56,900	△8.2	7,000	7.4	4,600	△10.8	291.27

※中間決算短信は公認会計士又は監査法人の中間監査の対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 当行は、特定事業会社(企業内容等の開示に関する内閣府令第17条の15第2項に規定する事業を行う会社)に該当するため、第2四半期会計期間については、中間連結財務諸表及び中間財務諸表を作成しております。
- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	5
(3) 中間連結株主資本等変動計算書 .....	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
3. 中間財務諸表 .....	9
(1) 中間貸借対照表 .....	9
(2) 中間損益計算書 .....	10
(3) 中間株主資本等変動計算書 .....	11

※2024年3月期第2四半期決算補足説明資料

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

2023年度上半期の国内経済は、資源高の影響を一部で受けつつも、新型コロナウイルス感染症が5類に移行し個人消費が回復したことなどから、緩やかに回復しております。設備投資は、部品の供給制約の影響が緩和され、人手不足に対応したデジタル関連の投資や脱炭素化に向けた研究開発投資を中心に、着実な増加が続きました。生産活動は、海外景気の減速の影響から横ばい圏内の動きとなり、個人消費は、新型コロナウイルス感染症の5類移行や賃上げの動きによって、緩やかに増加しております。住宅投資は、住宅価格の上昇などから弱含み、公共投資は、緩やかに増加しました。有効求人倍率は、横ばい圏内の動きとなりました。金融市場の動向について、まず株式は円安進行を背景に堅調に推移していましたが、上期後半にかけては海外景気減速懸念から上値の重い展開となりました。為替について円は、日本銀行の緩和的な政策を受け、他の主要通貨に対して軟調に推移しました。長期金利は、日本銀行のイールドカーブコントロールの修正により、上昇基調で推移しております。

県内経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行などを背景に、緩やかに回復しました。設備投資は、製造業で大規模な設備投資が行われることから、前年度を上回っております。生産活動は、高水準で推移しました。個人消費は、外出機会の増加に伴い、持ち直しております。住宅投資は、持家に弱さがみられており、弱い動きとなっております。観光は国内客に加えインバウンド客も増加しており、回復しております。公共投資は高水準で推移しました。有効求人倍率は高水準を保っており、持ち直し基調にあります。

このような経済環境の中で、当行グループは積極的な営業活動を展開し、業績向上に努めました結果、当中間連結会計期間の経営成績は以下のとおりとなりました。

連結ベースの経常収益は、貸出金利息及び株式等売却益が増加したものの、国債等債券売却益の減少等により、前年同期比6億85百万円減少し、373億31百万円となりました。

一方、経常費用は、外貨調達コスト及び物件費が増加したものの、国債等債券売却損の減少等により、前年同期比6億32百万円減少し、329億19百万円となりました。

この結果、経常利益は、前年同期比53百万円減少し、44億11百万円となりました。また、親会社株主に帰属する中間純利益は、前年同期比3億65百万円増加し、32億10百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

(資産、負債等の状況)

#### ・預金等

預金及び譲渡性預金の合計残高は、法人預金、公金預金及び個人預金の増加により、前連結会計年度末対比547億円増加し、3兆5,950億円となりました。

#### ・貸出金

貸出金残高は、事業性貸出金及び個人ローンの増加により、前連結会計年度末対比265億円増加し、2兆1,186億円となりました。

#### ・有価証券

有価証券残高は、その他の証券、地方債及び国債の減少により、前連結会計年度末対比428億円減少し、1兆3,453億円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月12日に公表しました業績予想につきましては、銀行単体において、株式等売却益、貸出金利息及び有価証券利息配当金等が当初予想を上回る見込みとなったこと等から、以下のとおり修正しております。

## ①2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(単位:百万円)

	経常収益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
前回発表予想 (A)	63,200	7,800	5,200
今回修正予想 (B)	68,100	8,100	5,400
増減額 (B-A)	4,900	300	200
増減率 (%)	7.8	3.8	3.8
(ご参考)前期実績(2023年3月期)	72,905	7,796	5,409

## ②2024年3月期の個別業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(単位:百万円)

	経常収益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	52,100	6,800	4,500
今回修正予想 (B)	56,900	7,000	4,600
増減額 (B-A)	4,800	200	100
増減率 (%)	9.2	2.9	2.2
(ご参考)前期実績(2023年3月期)	62,010	6,515	5,156

業績予想の前提として、日経平均株価を29,000円～36,000円、与信費用を連結△1億円、単体△5億円と予想しております。

なお、業績予想については、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当中間連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
現金預け金	725,874	866,761
コールローン及び買入手形	2,537	2,991
買入金銭債権	3,310	2,850
金銭の信託	3,991	3,991
有価証券	1,388,202	1,345,364
貸出金	2,092,111	2,118,645
外国為替	4,331	3,983
リース債権及びリース投資資産	16,022	15,917
その他資産	54,031	65,891
有形固定資産	30,286	29,979
無形固定資産	689	608
退職給付に係る資産	9,085	8,967
繰延税金資産	10,412	8,557
支払承諾見返	10,218	9,371
貸倒引当金	△26,717	△25,633
<b>資産の部合計</b>	<b>4,324,388</b>	<b>4,458,247</b>
<b>負債の部</b>		
預金	3,445,070	3,468,450
譲渡性預金	95,248	126,576
売現先勘定	47,902	59,623
債券貸借取引受入担保金	83,698	122,240
借入金	388,765	423,559
外国為替	37	57
その他負債	52,993	41,230
賞与引当金	1,114	1,129
退職給付に係る負債	6,825	6,739
役員退職慰労引当金	27	28
睡眠預金払戻損失引当金	879	910
繰延税金負債	12	3
再評価に係る繰延税金負債	4,074	4,067
支払承諾	10,218	9,371
<b>負債の部合計</b>	<b>4,136,868</b>	<b>4,263,988</b>
<b>純資産の部</b>		
資本金	19,598	19,598
資本剰余金	13,768	13,768
利益剰余金	151,743	154,133
自己株式	△2,078	△1,996
<b>株主資本合計</b>	<b>183,031</b>	<b>185,503</b>
その他有価証券評価差額金	△2,941	1,113
繰延ヘッジ損益	△454	△220
土地再評価差額金	8,124	8,115
退職給付に係る調整累計額	△554	△573
その他の包括利益累計額合計	4,173	8,434
新株予約権	246	254
非支配株主持分	68	66
<b>純資産の部合計</b>	<b>187,520</b>	<b>194,258</b>
<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>4,324,388</b>	<b>4,458,247</b>

## (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

## 中間連結損益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
経常収益	38,017	37,331
資金運用収益	21,311	21,771
(うち貸出金利息)	10,842	12,010
(うち有価証券利息配当金)	10,158	9,478
役務取引等収益	4,593	4,707
その他業務収益	9,939	6,409
その他経常収益	2,172	4,442
経常費用	33,552	32,919
資金調達費用	536	2,016
(うち預金利息)	70	113
役務取引等費用	904	1,068
その他業務費用	18,005	15,147
営業経費	13,436	14,255
その他経常費用	669	431
経常利益	4,464	4,411
特別利益	2	8
固定資産処分益	2	8
特別損失	188	49
固定資産処分損	67	49
減損損失	120	—
税金等調整前中間純利益	4,279	4,371
法人税、住民税及び事業税	1,300	1,130
法人税等調整額	132	30
法人税等合計	1,432	1,160
中間純利益	2,846	3,211
非支配株主に帰属する中間純利益	0	0
親会社株主に帰属する中間純利益	2,845	3,210

## 中間連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
中間純利益	2,846	3,211
その他の包括利益	△13,688	4,268
その他有価証券評価差額金	△11,673	4,053
繰延ヘッジ損益	△1,954	233
退職給付に係る調整額	△59	△19
中間包括利益	△10,841	7,479
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△10,843	7,480
非支配株主に係る中間包括利益	1	△1



## (3) 中間連結株主資本等変動計算書

前中間連結会計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	19,598	13,768	147,390	△2,122	178,634
当中間期変動額					
剰余金の配当			△630		△630
親会社株主に帰属する 中間純利益			2,845		2,845
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		△22		45	22
土地再評価差額金の取崩			63		63
利益剰余金から 資本剰余金への振替		22	△22		—
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)					
当中間期変動額合計	—	—	2,255	44	2,300
当中間期末残高	19,598	13,768	149,645	△2,077	180,935

	その他の包括利益累計額					新株予約権	非支配 株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	退職給付 に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計			
当期首残高	9,141	1,673	8,353	△18	19,149	220	67	198,072
当中間期変動額								
剰余金の配当								△630
親会社株主に帰属する 中間純利益								2,845
自己株式の取得								△0
自己株式の処分								22
土地再評価差額金の取崩								63
利益剰余金から 資本剰余金への振替								—
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)	△11,674	△1,954	△63	△59	△13,752	25	1	△13,725
当中間期変動額合計	△11,674	△1,954	△63	△59	△13,752	25	1	△11,425
当中間期末残高	△2,533	△281	8,290	△78	5,397	246	68	186,647

当中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	19,598	13,768	151,743	△2,078	183,031
当中間期変動額					
剰余金の配当			△789		△789
親会社株主に帰属する 中間純利益			3,210		3,210
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		△41		82	41
土地再評価差額金の取崩			9		9
利益剰余金から 資本剰余金への振替		41	△41		—
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)					
当中間期変動額合計	—	—	2,389	81	2,471
当中間期末残高	19,598	13,768	154,133	△1,996	185,503

	その他の包括利益累計額					新株予約権	非支配 株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	退職給付 に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計			
当期首残高	△2,941	△454	8,124	△554	4,173	246	68	187,520
当中間期変動額								
剰余金の配当								△789
親会社株主に帰属する 中間純利益								3,210
自己株式の取得								△0
自己株式の処分								41
土地再評価差額金の取崩								9
利益剰余金から 資本剰余金への振替								—
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)	4,055	233	△9	△19	4,260	8	△1	4,267
当中間期変動額合計	4,055	233	△9	△19	4,260	8	△1	6,738
当中間期末残高	1,113	△220	8,115	△573	8,434	254	66	194,258

## (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## 3. 中間財務諸表

## (1) 中間貸借対照表

(単位:百万円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当中間会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
現金預け金	725,866	865,489
コールローン	2,537	2,991
買入金銭債権	3,310	2,850
金銭の信託	3,991	3,991
有価証券	1,392,387	1,349,483
貸出金	2,098,204	2,125,601
外国為替	4,331	3,983
その他資産	42,980	53,977
その他の資産	42,980	53,977
有形固定資産	29,403	29,073
無形固定資産	573	496
前払年金費用	9,540	9,517
繰延税金資産	9,140	7,309
支払承諾見返	10,216	9,369
貸倒引当金	△23,963	△22,869
資産の部合計	4,308,521	4,441,266
<b>負債の部</b>		
預金	3,455,769	3,478,431
譲渡性預金	99,648	130,976
売現先勘定	47,902	59,623
債券貸借取引受入担保金	83,698	122,240
借入金	383,027	418,009
外国為替	37	57
その他負債	43,721	31,774
未払法人税等	341	554
リース債務	263	242
資産除去債務	443	385
その他の負債	42,673	30,592
賞与引当金	1,047	1,059
退職給付引当金	6,210	6,179
睡眠預金払戻損失引当金	879	910
再評価に係る繰延税金負債	4,074	4,067
支払承諾	10,216	9,369
負債の部合計	4,136,233	4,262,700
<b>純資産の部</b>		
資本金	19,598	19,598
資本剰余金	10,582	10,582
資本準備金	10,582	10,582
利益剰余金	139,287	141,235
利益準備金	10,431	10,431
その他利益剰余金	128,856	130,804
固定資産圧縮積立金	84	84
別途積立金	122,830	126,330
繰越利益剰余金	5,942	4,390
自己株式	△2,078	△1,996
株主資本合計	167,389	169,419
その他有価証券評価差額金	△3,017	997
繰延ヘッジ損益	△454	△220
土地再評価差額金	8,124	8,115
評価・換算差額等合計	4,652	8,891
新株予約権	246	254
純資産の部合計	172,288	178,565
負債及び純資産の部合計	4,308,521	4,441,266

## (2) 中間損益計算書

(単位：百万円)

	前中間会計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当中間会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
経常収益	32,825	31,768
資金運用収益	20,777	21,215
(うち貸出金利息)	10,305	11,451
(うち有価証券利息配当金)	10,161	9,481
役務取引等収益	4,171	4,263
その他業務収益	5,450	1,783
その他経常収益	2,425	4,506
経常費用	28,854	28,025
資金調達費用	526	2,004
(うち預金利息)	70	113
役務取引等費用	904	1,068
その他業務費用	14,056	11,038
営業経費	12,712	13,495
その他経常費用	653	417
経常利益	3,971	3,743
特別利益	584	8
特別損失	188	48
税引前中間純利益	4,367	3,703
法人税、住民税及び事業税	1,064	907
法人税等調整額	193	26
法人税等合計	1,258	933
中間純利益	3,108	2,769

## (3) 中間株主資本等変動計算書

前中間会計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位：百万円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金		
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計
当期首残高	19,598	10,582	—	10,582
当中間期変動額				
剰余金の配当				
中間純利益				
自己株式の取得				
自己株式の処分			△22	△22
別途積立金の積立				
土地再評価差額金の取崩				
繰越利益剰余金から その他資本剰余金への振替			22	22
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)				
当中間期変動額合計	—	—	—	—
当中間期末残高	19,598	10,582	—	10,582

	株主資本						
	利益準備金	利益剰余金			利益剰余金 合計	自己株式	株主資本 合計
		固定資産 圧縮積立金	別途積立金	繰越利益 剰余金			
当期首残高	10,431	84	119,330	5,341	135,186	△2,122	163,245
当中間期変動額							
剰余金の配当				△630	△630		△630
中間純利益				3,108	3,108		3,108
自己株式の取得						△0	△0
自己株式の処分						45	22
別途積立金の積立			3,500	△3,500	—		—
土地再評価差額金の取崩				63	63		63
繰越利益剰余金から その他資本剰余金への振替				△22	△22		—
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)							
当中間期変動額合計	—	—	3,500	△981	2,518	44	2,563
当中間期末残高	10,431	84	122,830	4,360	137,705	△2,077	165,809

	評価・換算差額等				新株予約権	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	評価・換算 差額等合計		
当期首残高	9,079	1,673	8,353	19,107	220	182,573
当中間期変動額						
剰余金の配当						△630
中間純利益						3,108
自己株式の取得						△0
自己株式の処分						22
別途積立金の積立						—
土地再評価差額金の取崩						63
繰越利益剰余金から その他資本剰余金への振替						—
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)	△11,683	△1,954	△63	△13,701	25	△13,676
当中間期変動額合計	△11,683	△1,954	△63	△13,701	25	△11,112
当中間期末残高	△2,603	△281	8,290	5,405	246	171,460

当中間会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金		
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計
当期首残高	19,598	10,582	—	10,582
当中間期変動額				
剰余金の配当				
中間純利益				
自己株式の取得				
自己株式の処分			△41	△41
別途積立金の積立				
土地再評価差額金の取崩				
繰越利益剰余金から その他資本剰余金への振替			41	41
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)				
当中間期変動額合計	—	—	—	—
当中間期末残高	19,598	10,582	—	10,582

	株主資本						
	利益準備金	利益剰余金			利益剰余金 合計	自己株式	株主資本 合計
		固定資産 圧縮積立金	別途積立金	繰越利益 剰余金			
当期首残高	10,431	84	122,830	5,942	139,287	△2,078	167,389
当中間期変動額							
剰余金の配当				△789	△789		△789
中間純利益				2,769	2,769		2,769
自己株式の取得						△0	△0
自己株式の処分						82	41
別途積立金の積立			3,500	△3,500	—		—
土地再評価差額金の取崩				9	9		9
繰越利益剰余金から その他資本剰余金への振替				△41	△41		—
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)							
当中間期変動額合計	—	—	3,500	△1,551	1,948	81	2,029
当中間期末残高	10,431	84	126,330	4,390	141,235	△1,996	169,419

	評価・換算差額等				新株予約権	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	評価・換算 差額等合計		
当期首残高	△3,017	△454	8,124	4,652	246	172,288
当中間期変動額						
剰余金の配当						△789
中間純利益						2,769
自己株式の取得						△0
自己株式の処分						41
別途積立金の積立						—
土地再評価差額金の取崩						9
繰越利益剰余金から その他資本剰余金への振替						—
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)	4,014	233	△9	4,239	8	4,247
当中間期変動額合計	4,014	233	△9	4,239	8	6,277
当中間期末残高	997	△220	8,115	8,891	254	178,565

2024年3月期  
第2四半期決算補足説明資料



感動を、シェアしたい。

大分銀行

## 【 目 次 】

## I 2024年3月期 第2四半期決算の概要

1. 損益状況	単	.....	1
〃	連	.....	2
2. 業務純益	単		
3. 利鞘	単	.....	3
4. 有価証券関係損益	単		
5. 自己資本比率(国内基準)	単・連	.....	4
6. ROE	単		

## II 貸出金等の状況

1. 金融再生法開示債権及びリスク管理債権の状況	単・連	.....	5
2. 金融再生法開示債権及びリスク管理債権の保全状況	単・連	.....	6
3. 自己査定に基づく個別貸倒引当金引当状況	単・連		
4. 貸倒引当金等の状況	単・連	.....	7
5. 金融再生法開示債権及びリスク管理債権に対する引当率 部分直接償却を実施した場合の状況	単・連 単	..... .....	8
6. 業種別貸出状況等	—	.....	9
(1) 業種別貸出金	単		
(2) 業種別金融再生法開示債権及びリスク管理債権	単		
(3) 消費者ローン残高	単	.....	10
(4) 中小企業等貸出残高及び貸出比率	単		
7. 預金、貸出金の残高	単		
8. 役職員数及び店舗数	単		
9. 業績等予想	単	.....	11
10. 2023年9月期の債権放棄の金額及び放棄先	単		
11. 系列ノンバンク向け融資残高	単		
12. 連結子会社、関連ノンバンクの引当不足について	単		
13. 自己査定結果について	単		
14. 貸出関係	単	.....	12
15. 不良債権について	—	.....	13
(1) 処理損失	単・連		
(2) 最終処理と新規発生	単		
(3) 金融支援	単		
(4) 債務者区分ごとの引当額と引当率	単	.....	14
16. 保有株式について	—		
(1) 保有株式	単		
(2) 減損処理基準	単		
《参考資料》			
当行の地域貢献に関する開示情報	単	.....	15

※本資料に含まれる将来の見通しに関する記述については、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。また、本資料の増減額(率)につきましては、本資料上の開示単位にて算出しております。



## I 2024年3月期 第2四半期決算の概要

## 1. 損益状況

## 【単体】

(百万円)

		2023年9月期	2022年9月期比		2022年9月期
			増減率(%)	金額	
業 務 粗 利 益	1	13,150		△ 1,762	14,912
(除く国債等債券損益(5勘定戻))	2	( 18,310 )		( △ 3,951 )	( 22,261 )
国 内 業 務 粗 利 益	3	15,589		△ 4,800	20,389
(除く国債等債券損益(5勘定戻))	4	( 18,004 )		( △ 2,730 )	( 20,734 )
資 金 利 益	5	14,863		△ 2,658	17,521
役 務 取 引 等 利 益	6	3,187		△ 70	3,257
そ の 他 業 務 利 益	7	△ 2,461		△ 2,072	△ 389
(うち国債等債券損益)	8	( △ 2,414 )		( △ 2,070 )	( △ 344 )
国 際 業 務 粗 利 益	9	△ 2,439		3,037	△ 5,476
(除く国債等債券損益(5勘定戻))	10	( 306 )		( △ 1,221 )	( 1,527 )
資 金 利 益	11	4,347		1,617	2,730
役 務 取 引 等 利 益	12	7		△ 1	8
そ の 他 業 務 利 益	13	△ 6,794		1,422	△ 8,216
(うち国債等債券損益)	14	( △ 2,745 )		( 4,259 )	( △ 7,004 )
経 費 (除く臨時処理分)(△)	15	13,495		728	12,767
人 件 費 (△)	16	7,301		32	7,269
物 件 費 (△)	17	5,250		731	4,519
税 金 (△)	18	943		△ 36	979
業 務 純 益 (一般貸倒繰入前)	19	△ 345	△ 116.1	△ 2,489	2,144
コ ア 業 務 純 益	20	4,814	△ 49.3	△ 4,679	9,493
除く投資信託解約損益	21	3,999		△ 1,136	5,135
① 一般貸倒引当金繰入額(△)	22	—		—	—
業 務 純 益	23	△ 345	△ 116.1	△ 2,489	2,144
うち国債等債券損益(5勘定戻)	24	△ 5,159		2,189	△ 7,348
臨 時 損 益	25	4,088		2,261	1,827
② 不良債権処理額(△)	26	△ 41		△ 156	115
貸 出 金 償 却 (△)	27	—		—	—
個別貸倒引当金繰入額(△)	28	—		—	—
延滞債権等売却損(△)	29	—		—	—
債権売却損失引当金繰入額(△)	30	—		—	—
そ の 他 (△)	31	△ 41		△ 156	115
(貸倒償却引当費用①+②)(△)	32	△ 41		△ 156	115
③ 貸 倒 引 当 金 戻 入 益	33	1,094		371	723
④ 償 却 債 権 取 立 益	34	—		—	—
株 式 等 損 益	35	2,985		1,864	1,121
株 式 等 売 却 益	36	3,213		1,619	1,594
株 式 等 売 却 損 (△)	37	102		△ 278	380
株 式 等 償 却 (△)	38	126		34	92
そ の 他 臨 時 損 益	39	△ 31		△ 128	97
経 常 利 益	40	3,743	△ 5.7	△ 228	3,971
特 別 損 益	41	△ 40		△ 436	396
うち固定資産処分損益	42	△ 40		24	△ 64
うち抱合せ株式消滅差益	43	—		△ 581	581
うち減損損失(△)	44	—		△ 120	120
税 引 前 中 間 純 利 益	45	3,703	△ 15.2	△ 664	4,367
法人税、住民税及び事業税(△)	46	907		△ 157	1,064
法 人 税 等 調 整 額 (△)	47	26		△ 167	193
法 人 税 等 合 計 (△)	48	933		△ 325	1,258
中 間 純 利 益	49	2,769	△ 10.9	△ 339	3,108
(ご参考)					
与信費用(①+②-③-④)(△)	50	△ 1,135		△ 527	△ 608

(注) 1. 金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 不良債権処理額の「その他」は、信用保証協会の責任共有制度に係る引当金繰入額を計上しております。

## 【連結】

&lt;連結損益計算書ベース&gt;

(百万円)

		2023年9月期		2022年9月期
			2022年9月期比	
連 結 粗 利 益	1	14,656	△ 1,741	16,397
資 金 利 益	2	19,755	△ 1,019	20,774
役 務 取 引 等 利 益	3	3,639	△ 49	3,688
そ の 他 業 務 利 益	4	△8,738	△ 673	△8,065
営 業 経 費	5	14,255	819	13,436
貸 倒 償 却 引 当 費 用	6	△31	△ 150	119
貸 出 金 償 却	7	5	2	3
個 別 貸 倒 引 当 金 繰 入 額	8	—	—	—
延 滞 債 権 等 売 却 損	9	4	4	0
一 般 貸 倒 引 当 金 繰 入 額	10	—	—	—
そ の 他	11	△41	△ 156	115
貸 倒 引 当 金 戻 入 益	12	959	487	472
償 却 債 権 取 立 益	13	0	0	0
株 式 等 損 益	14	3,054	1,935	1,119
持 分 法 に よ る 投 資 損 益	15	—	—	—
そ の 他	16	△34	△ 65	31
経 常 利 益	17	4,411	△ 53	4,464
特 別 損 益	18	△ 40	145	△ 185
税 金 等 調 整 前 中 間 純 利 益	19	4,371	92	4,279
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税	20	1,130	△ 170	1,300
法 人 税 等 調 整 額	21	30	△ 102	132
法 人 税 等 合 計	22	1,160	△ 272	1,432
中 間 純 利 益	23	3,211	365	2,846
非 支 配 株 主 に 帰 属 す る 中 間 純 利 益	24	0	0	0
親 会 社 株 主 に 帰 属 す る 中 間 純 利 益	25	3,210	365	2,845

(注) 1. 連結粗利益=(資金運用収益-資金調達費用)+(役務取引等収益-役務取引等費用)

+(その他業務収益-その他業務費用)

2. 貸倒償却引当費用の「その他」は、信用保証協会の責任共有制度に係る引当金繰入額を計上しております。

(連結対象会社数)

(社)

連結子会社数	7	0	7
持分法適用会社数	0	0	0

## 2. 業務純益【単体】

(百万円)

	2023年9月期		2022年9月期
		2022年9月期比	
(1) 業務純益(一般貸倒繰入前)	△ 345	△ 2,489	2,144
従業員一人当たり(千円)	△ 223	△ 1,565	1,342
(2) 業務純益	△ 345	△ 2,489	2,144
従業員一人当たり(千円)	△ 223	△ 1,565	1,342

(注) 従業員数は、出向者及び嘱託、臨時雇員を含んでおりません。

## 3. 利鞘(全店)【単体】 (%)

	2023年9月期		2022年9月期
		2022年9月期比	
(1) 資金運用利回 (A)	1.10	△ 0.02	1.12
(イ) 貸出金利回	1.08	0.07	1.01
(ロ) 有価証券利回	1.34	△ 0.20	1.54
(2) 資金調達原価 (B)	0.73	0.07	0.66
(イ) 預金等利回	0.00	0.00	0.00
(ロ) 外部負債利回	0.00	0.00	0.00
(3) 総資金利鞘 (A) - (B)	0.37	△ 0.09	0.46

(注)外部負債利回は、コールマネー及び借入金の合算利回であります。

## 利鞘(国内)【単体】 (%)

	2023年9月期		2022年9月期
		2022年9月期比	
(1) 資金運用利回 (A)	0.80	△ 0.18	0.98
(イ) 貸出金利回	0.96	△ 0.01	0.97
(ロ) 有価証券利回	0.83	△ 0.59	1.42
(2) 資金調達原価 (B)	0.64	0.01	0.63
(イ) 預金等利回	0.00	0.00	0.00
(ロ) 外部負債利回	0.00	0.00	△ 0.00
(3) 総資金利鞘 (A) - (B)	0.16	△ 0.19	0.35

(注)外部負債利回は、コールマネー及び借入金の合算利回であります。

## 4. 有価証券関係損益【単体】 (百万円)

	2023年9月期		2022年9月期
		2022年9月期比	
国債等債券損益 (5勘定戻)	△ 5,159	2,189	△ 7,348
売却益	1,783	△ 3,667	5,450
償還益	—	—	—
売却損	6,943	△ 5,856	12,799
償還損	—	—	—
償却	—	—	—
株式等損益 (3勘定戻)	2,985	1,864	1,121
売却益	3,213	1,619	1,594
売却損	102	△ 278	380
償却	126	34	92

## 5. 自己資本比率(国内基準)

## 【単体】

(億円)

	2023年9月末			2023年3月末	2022年9月末
	[速報値]	2023年3月末比	2022年9月末比		
(1) 自己資本比率	9.53%	△ 0.07%	△ 0.26%	9.60%	9.79%
(2) 単体における自己資本の額	1,650	20	25	1,630	1,625
(3) リスク・アセットの額	17,316	343	720	16,973	16,596
(4) 単体総所要自己資本額	692	14	29	678	663

## 【連結】

(億円)

	2023年9月末			2023年3月末	2022年9月末
	[速報値]	2023年3月末比	2022年9月末比		
(1) 連結自己資本比率	10.35%	△ 0.05%	△ 0.24%	10.40%	10.59%
(2) 連結における自己資本の額	1,814	26	35	1,788	1,779
(3) リスク・アセットの額	17,529	343	730	17,186	16,799
(4) 連結総所要自己資本額	701	14	30	687	671

## 6. ROE【単体】

(%)

	2023年9月期		2022年9月期
		2022年9月期比	
業務純益ベース	△ 0.39	△ 2.80	2.41
中間純利益ベース	3.15	△ 0.35	3.50

(算式)

$$\frac{\text{業務純益 (中間純利益)} \div 183 \times 365}{\{(期首純資産額 - 期首新株予約権) + (\text{中間期末純資産額} - \text{中間期末新株予約権})\} \div 2} \times 100$$

## (ご参考) 株主資本ROE【単体】

(%)

	2023年9月期		2022年9月期
		2022年9月期比	
中間純利益ベース	3.27	△ 0.49	3.76

(算式)

$$\frac{\text{中間純利益} \div 183 \times 365}{(\text{期首株主資本合計} + \text{中間期末株主資本合計}) \div 2} \times 100$$

## II 貸出金等の状況

### 1. 金融再生法開示債権及びリスク管理債権の状況

部分直接償却実施（**前**）・ 後 ）

未収利息不計上基準（破綻懸念先以下は不計上）

#### 【単体】

(百万円)

	2023年9月末		2022年9月末比	2023年3月末	2022年9月末
		2023年3月末比			
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	7,698	515	△ 389	7,183	8,087
危険債権	35,734	△ 2,281	△ 4,079	38,015	39,813
要管理債権	162	△ 7	△ 15	169	177
三月以上延滞債権	—	—	—	—	—
貸出条件緩和債権	162	△ 7	△ 15	169	177
合 計 (A)	43,596	△ 1,771	△ 4,482	45,367	48,078
正常債権	2,105,592	29,389	70,958	2,076,203	2,034,634
総与信残高	2,149,188	27,617	66,475	2,121,571	2,082,713

(%)

総与信残高比	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	0.35	0.02	△ 0.03	0.33	0.38
	危険債権	1.66	△ 0.13	△ 0.25	1.79	1.91
	要管理債権	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	三月以上延滞債権	—	—	—	—	—
	貸出条件緩和債権	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	合 計	2.02	△ 0.11	△ 0.28	2.13	2.30

#### 【連結】

(百万円)

	2023年9月末		2022年9月末比	2023年3月末	2022年9月末
		2023年3月末比			
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	8,484	529	△ 402	7,955	8,886
危険債権	36,522	△ 2,396	△ 4,260	38,918	40,782
要管理債権	197	△ 2	△ 9	199	206
三月以上延滞債権	—	—	—	—	—
貸出条件緩和債権	197	△ 2	△ 9	199	206
合 計 (A)	45,205	△ 1,868	△ 4,670	47,073	49,875
正常債権	2,124,346	29,160	72,071	2,095,186	2,052,275
総与信残高	2,169,552	27,293	67,401	2,142,259	2,102,151

(%)

総与信残高比	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	0.39	0.02	△ 0.03	0.37	0.42
	危険債権	1.68	△ 0.13	△ 0.26	1.81	1.94
	要管理債権	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	三月以上延滞債権	—	—	—	—	—
	貸出条件緩和債権	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	合 計	2.08	△ 0.11	△ 0.29	2.19	2.37

## 2. 金融再生法開示債権及びリスク管理債権の保全状況

## 【単体】

(百万円)

	2023年9月末			2023年3月末	2022年9月末
		2023年3月末比	2022年9月末比		
保全額 (B)	41,114	△ 1,436	△ 3,946	42,550	45,060
貸倒引当金	20,372	△ 967	△ 2,483	21,339	22,855
特定債務者引当金	—	—	—	—	—
担保保証等	20,742	△ 468	△ 1,462	21,210	22,204

(%)

保全率 (B) / (A)	94.3	0.6	0.6	93.7	93.7
---------------	------	-----	-----	------	------

(百万円)

	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	危険債権	要管理債権	合計
債権残高 A	7,698	35,734	162	43,596
担保等による保全額 B	3,125	17,591	25	20,742
貸倒引当金 C	4,573	15,773	25	20,372
保全引当率 D D=(B+C)/A	100.0%	93.3%	31.1%	94.3%

## 【連結】

(百万円)

	2023年9月末			2023年3月末	2022年9月末
		2023年3月末比	2022年9月末比		
保全額 (B)	42,138	△ 1,487	△ 4,060	43,625	46,198
貸倒引当金	21,352	△ 1,001	△ 2,583	22,353	23,935
特定債務者引当金	—	—	—	—	—
担保保証等	20,785	△ 486	△ 1,478	21,271	22,263

(%)

保全率 (B) / (A)	93.2	0.6	0.6	92.6	92.6
---------------	------	-----	-----	------	------

(百万円)

	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	危険債権	要管理債権	合計
債権残高 A	8,484	36,522	197	45,205
担保等による保全額 B	3,169	17,591	25	20,785
貸倒引当金 C	5,315	15,999	37	21,352
保全引当率 D D=(B+C)/A	100.0%	91.9%	31.7%	93.2%

## 3. 自己査定に基づく個別貸倒引当金引当状況 (総与信ベース)

## 【単体】

(百万円)

	貸出金等の残高 A	担保等の保全額 B	回収が懸念される額 C (A-B)	個別貸倒引当金 D	引当率 (D/C)
破綻懸念先	35,734	17,591	18,143	15,773	86.9%
実質破綻先	4,596	1,749	2,847	2,847	100.0%
破綻先	3,102	1,376	1,726	1,726	100.0%
合計	43,433	20,716	22,716	20,347	89.5%

## 【連結】

(百万円)

	貸出金等の残高 A	担保等の保全額 B	回収が懸念される額 C (A-B)	個別貸倒引当金 D	引当率 (D/C)
破綻懸念先	36,522	17,591	18,931	15,999	84.5%
実質破綻先	4,903	1,753	3,150	3,150	100.0%
破綻先	3,581	1,416	2,165	2,165	100.0%
合計	45,007	20,760	24,247	21,315	87.9%

## 4. 貸倒引当金等の状況

## 【単体】

(百万円)

	2023年9月末		2023年3月末	2022年9月末
		2023年3月末比		
貸倒引当金	22,869	△ 1,094	△ 3,025	23,963
一般貸倒引当金	2,522	△ 125	△ 542	2,647
個別貸倒引当金	20,347	△ 969	△ 2,482	21,316
特定海外債権引当勘定	—	—	—	—

特定債務者支援引当金	—	—	—	—
------------	---	---	---	---

債権売却損失引当金	—	—	—	—
-----------	---	---	---	---

## 【連結】

(百万円)

	2023年9月末		2023年3月末	2022年9月末
		2023年3月末比		
貸倒引当金	25,633	△ 1,084	△ 3,145	26,717
一般貸倒引当金	3,086	△ 82	△ 500	3,168
個別貸倒引当金	22,547	△ 1,001	△ 2,645	23,548
特定海外債権引当勘定	—	—	—	—

債権売却損失引当金	—	—	—	—
-----------	---	---	---	---

## 5. 金融再生法開示債権及びリスク管理債権に対する引当率

## 【単体】

(%)

	2023年9月末		2023年3月末	2022年9月末
		2023年3月末比		
部分直接償却前	52.45	△ 0.37	△ 1.40	53.85
部分直接償却後				

## 【連結】

(%)

	2023年9月末		2023年3月末	2022年9月末
		2023年3月末比		
部分直接償却前	56.70	△ 0.05	△ 1.00	57.70
部分直接償却後				

## 部分直接償却を実施した場合の状況

《部分直接償却》

自己査定により回収不能又は無価値と判定した担保・保証付債権等について、債権額から担保の処分可能見込額及び保証による回収が可能と認められる額を控除した残額（IV分類金額）を取立不能見込額として債権額から直接減額すること。

当行は「部分直接償却」を行っていないためIV分類金額と同額の貸倒引当金を計上しております。

### 金融再生法開示債権及びリスク管理債権

【単体】

(百万円)

	2023年9月末			2023年3月末	2022年9月末
		2023年3月末比	2022年9月末比		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	3,248	△ 240	△ 468	3,488	3,716
危険債権	35,734	△ 2,281	△ 4,079	38,015	39,813
要管理債権	162	△ 7	△ 15	169	177
三月以上延滞債権	—	—	—	—	—
貸出条件緩和債権	162	△ 7	△ 15	169	177
合 計	39,145	△ 2,528	△ 4,562	41,673	43,707
正常債権	2,105,592	29,389	70,958	2,076,203	2,034,634
総与信残高	2,144,738	26,862	66,397	2,117,876	2,078,341

部分直接償却額	4,450	756	79	3,694	4,371
---------	-------	-----	----	-------	-------

(%)

総 与 信 残 高 比	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	0.15	△ 0.01	△ 0.02	0.16	0.17
	危険債権	1.66	△ 0.13	△ 0.25	1.79	1.91
	要管理債権	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	三月以上延滞債権	—	—	—	—	—
	貸出条件緩和債権	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	合 計	1.82	△ 0.14	△ 0.28	1.96	2.10



## 6. 業種別貸出状況等

## (1) 業種別貸出金 【単体】

(百万円)

	2023年9月末			2023年3月末	2022年9月末
		2023年3月末比	2022年9月末比		
国内店分 (除く特別国際金融取引勘定)	2,125,601	27,397	64,934	2,098,204	2,060,667
製造業	152,634	6,683	17,330	145,951	135,304
農業・林業	4,326	245	369	4,081	3,957
漁業	3,661	335	374	3,326	3,287
鉱業・採石業・砂利採取業	2,436	△ 215	△ 454	2,651	2,890
建設業	55,704	△ 608	5,633	56,312	50,071
電気・ガス・熱供給・水道業	65,226	△ 306	△ 2,986	65,532	68,212
情報通信業	13,348	△ 416	△ 387	13,764	13,735
運輸業・郵便業	68,110	△ 2,084	△ 3,173	70,194	71,283
卸売業・小売業	145,842	2,100	3,219	143,742	142,623
金融業・保険業	123,838	4,433	13,956	119,405	109,882
不動産業・物品賃貸業	269,603	4,647	9,934	264,956	259,669
各種サービス業	219,894	697	3,595	219,197	216,299
地方公共団体	301,181	△ 13,477	△ 27,664	314,658	328,845
その他	699,798	25,363	45,188	674,435	654,610

## (2) 業種別金融再生法開示債権及びリスク管理債権 【単体】

(百万円)

	2023年9月末			2023年3月末	2022年9月末
		2023年3月末比	2022年9月末比		
国内店分 (除く特別国際金融取引勘定)	43,596	△ 1,771	△ 4,482	45,367	48,078
製造業	2,578	△ 108	302	2,686	2,276
農業・林業	47	0	△ 9	47	56
漁業	618	8	△ 4	610	622
鉱業・採石業・砂利採取業	—	—	—	—	—
建設業	256	△ 28	△ 53	284	309
電気・ガス・熱供給・水道業	2,479	51	△ 906	2,428	3,385
情報通信業	8	8	8	—	—
運輸業・郵便業	1,274	△ 274	△ 314	1,548	1,588
卸売業・小売業	15,081	△ 481	△ 710	15,562	15,791
金融業・保険業	3,095	0	0	3,095	3,095
不動産業・物品賃貸業	2,625	△ 26	△ 959	2,651	3,584
各種サービス業	8,173	△ 601	△ 749	8,774	8,922
地方公共団体	—	—	—	—	—
その他	7,356	△ 321	△ 1,088	7,677	8,444

(3) 消費者ローン残高 **【単体】** (百万円)

	2023年9月末		2023年3月末	2022年9月末
		2023年3月末比		
消費者ローン残高	710,448	19,403	39,903	691,045
うち住宅ローン残高	650,090	18,565	37,918	631,525
うちその他ローン残高	60,358	838	1,985	59,520

(4) 中小企業等貸出残高及び貸出比率 **【単体】** (百万円、%)

	2023年9月末		2023年3月末	2022年9月末
		2023年3月末比		
中小企業等貸出残高	1,579,694	34,436	80,564	1,545,258
中小企業等貸出比率	74.31	0.67	1.57	73.64

7. 預金、貸出金の残高 **【単体】** (百万円)

	2023年9月末		2023年3月末	2022年9月末
		2023年3月末比		
預金等(末残)(含むNCD)	3,609,408	53,991	107,930	3,555,417
預金等(平残)(含むNCD)	3,637,614	91,366	86,263	3,546,248
貸出金(末残)	2,125,601	27,397	64,934	2,098,204
貸出金(平残)	2,108,242	52,517	89,227	2,055,725

## 8. 役職員数及び店舗数

(1) 役職員数(期末人員) **【単体】** (人)

	2023年9月末		2023年3月末	2022年9月末
		2023年3月末比		
役員数	11	0	0	11
従業員数	1,525	△7	△52	1,532

(注)従業員数は、出向者及び嘱託、臨時雇用を含んでおりません。

(2) 店舗数 **【単体】** (店)

	2023年9月末		2023年3月末	2022年9月末
		2023年3月末比		
国内本支店	93	0	0	93
海外支店	0	0	0	0
駐在員事務所	1	0	0	1

## 9. 業績等予想

## 【単体】

(百万円)

	2023年9月期 直近予想	2023年9月期 実績	2024年3月期 予想	2023年3月期 実績
経常収益	29,900	31,768	56,900	62,010
経常利益	3,200	3,743	7,000	6,515
当期(中間)純利益	2,200	2,769	4,600	5,156
業務純益	△ 700	△ 345	3,400	3,143
コア業務純益	3,500	4,814	9,100	17,260
与信費用	△ 900	△ 1,135	△ 500	△ 2,381

## 10. 2023年9月期の債権放棄の金額及び放棄先

## 【単体】

(百万円)

	2023年9月末			2023年3月末	2022年9月末
		2023年3月末比	2022年9月末比		
債権放棄先	0件	0件	0件	0件	0件
債権放棄額	—	—	—	—	—

## 11. 系列ノンバンク向け融資残高

(百万円)

	2023年9月末			2023年3月末	2022年9月末
		2023年3月末比	2022年9月末比		
2社合計	7,648	831	641	6,817	7,007

## 12. 連結子会社、関連ノンバンクの引当不足について

連結子会社、関連ノンバンクに引当不足はございません。

また、当行は連結子会社、関連ノンバンクに対し、金融支援を行っておりません。

## 13. 自己査定結果について

自己査定結果及び債権分類(率)の状況【単体】(速報ベース)

(百万円)

	2023年9月末		2023年3月末		2022年9月末	
	金額	構成比率	金額	構成比率	金額	構成比率
総与信残高	2,136,524	100.00%	2,109,859	100.00%	2,071,360	100.00%
非分類額	1,887,532	88.34%	1,876,745	88.95%	1,838,328	88.74%
分類額合計	248,992	11.65%	233,113	11.04%	233,031	11.25%
Ⅱ分類	246,623	11.54%	230,416	10.92%	230,140	11.11%
Ⅲ分類	2,369	0.11%	2,696	0.12%	2,891	0.13%
Ⅳ分類	—	—	—	—	—	—

(注) 総与信残高・・・貸付有価証券、貸出金、外国為替、未収利息、仮払金、支払承諾見返。

分類額は個別貸倒引当金控除後の残高です。

非分類額・・・Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ分類に該当しない資産で、回収の危険性又は価値の毀損の危険性について問題のない資産。

Ⅱ分類・・・回収について通常の度合を超える危険を含むと認められる資産。

Ⅲ分類・・・最終の回収又は価値について重大な懸念が存し、損失の可能性が高いが、その損失額について合理的な推計が困難な資産。

Ⅳ分類・・・回収不可能又は無価値と判定される資産。

## 14. 貸出関係

○不良債権・問題債権残高及び不良債権引当額

## 【単体】

(百万円)

	不良債権・問題債権残高(自己査定)				
	①破綻先・ 実質破綻先	②破綻懸念先	①と②の合計	③要注意先	①～③の合計
2022年9月末	8,087	39,813	47,900	252,469	300,370
2023年3月末	7,183	38,015	45,198	250,952	296,150
2023年9月末	7,698	35,734	43,433	265,569	309,003

(百万円)

	金融再生法 開示債権	不良債権引当額	
		個別貸倒引当金 純繰入額	個別・一般貸倒 引当金純繰入額
2022年9月末	48,078	△ 363	△ 723
2023年3月末	45,367	△ 1,744	△ 2,522
2023年9月末	43,596	△ 968	△ 1,094

(注) 不良債権・問題債権残高は総与信ベースで、非分類債権を含む。

○最終処理額(2023年9月期)

## 【単体】

①売却(ファンドへの債権譲渡含む)	— 百万円
②直接償却	0 百万円
③その他(回収、債務者の業況改善など)	3,283 百万円
④合計	3,283 百万円

(注) 不良債権の最終処理額は、不良債権をオフバランス化した元本の額であります。

○新規発生状況(2023年9月期)

## 【単体】

①正常先からの発生額	697 百万円
②要注意先(要管理先を除く)からの発生額	824 百万円
③要管理先からの発生額	— 百万円
④合計	1,522 百万円

(注) 新規発生分の不良債権残高は、新たに破綻懸念先(金融再生法基準では危険債権)以下に分類された債権の残高であります。

○2023年4月～2023年9月の倒産先の状況

## 【単体】

(百万円)

債務者区分	件数	与信額
正常先	14	113
要注意先	2	260
要管理先	0	—
破綻懸念先	1	155
破綻・実質破綻先	3	77
合計	20	606

(注) 債務者区分は2023年3月末時点のものであります。

## 15. 不良債権について

## (1) 処理損失

## 【単体】

(億円)

	①一般貸倒引当金 純繰入額	②不良債権処理額	総与信費用 ①+②
2023年3月期	△ 7	△ 16	△ 23
2023年9月期	△ 1	△ 10	△ 11
	期初見込額	1	6
2024年3月期予想	△ 1	△ 4	△ 5

\*不良債権処理額は個別貸倒引当金純繰入額、貸出金償却など臨時損益段階の合計。

## 【連結】

(億円)

	①一般貸倒引当金 純繰入額	②不良債権処理額	総与信費用 ①+②
2023年3月期	△ 7	△ 13	△ 20
2023年9月期	△ 1	△ 9	△ 10
	期初見込額	1	8
2024年3月期予想	△ 1	0	△ 1

## (2) 最終処理と新規発生

## ①残高比較

## 【単体】

(億円)

	2023年3月末 ①	新規増加	期中減少		2023年9月末 ②	増減②-①
			オフバランス化	債権区分の移動		
破産更生等債権	71	13	8	—	76	5
危険債権	380	6	24	4	357	△ 23
計	451	19	32	4	434	△ 17

## ②オフバランス化の内訳

## 【単体】

(億円)

	2023年度上半期 オフバランス実績	2023年度下半期 オフバランス計画	2022年度通期 オフバランス実績
清算型処理	—	—	—
再建型処理	—	—	—
債権流動化	—	17	1
	RCC向け売却	—	—
直接償却	0	—	0
その他	32	15	48
	回収・返済	21	30
	業況改善	11	18
合計	32	32	49

## (3) 金融支援

## 【単体】

金融支援の該当先はありません。

## (4) 債務者区分ごとの引当額と引当率

## 【単体】

	2023年9月末		2023年3月末	
	割合	金額	割合	金額
実質破綻先・破綻先債権	無担保部分の100.00%	45 億円	無担保部分の100.00%	41 億円
破綻懸念先債権	無担保部分の 86.93%	157 億円	無担保部分の 86.45%	172 億円
要管理先債権	債権額の 15.50%	0 億円	債権額の 13.79%	0 億円
その他要注意先債権	債権額の 0.54%	14 億円	債権額の 0.60%	15 億円
正常先債権	債権額の 0.06%	10 億円	債権額の 0.07%	10 億円

自己査定における区分		引当基準
実質破綻先	破綻先	担保・保証で保全されていない部分に対し、100%の個別貸倒引当金を計上。
破綻懸念先	D C F 先	対象先の将来キャッシュフローの割引現在価値を見積り、当該額を担保・保証で保全されていない部分から控除した金額を、個別貸倒引当金として計上。
	一般先	担保・保証で保全されていない部分に対し、貸倒実績率に基づく今後3年間の予想損失率を乗じて算定した予想損失額を、個別貸倒引当金として計上。
要管理先	D C F 先	対象先の将来キャッシュフローの割引現在価値を見積り、当該額を対象債権残高から控除した金額を、一般貸倒引当金として計上。
	一般先	対象債権残高に対し、貸倒実績率に基づく今後3年間の予想損失率を乗じて算定した予想損失額を、一般貸倒引当金として計上。
その他要注意先	先	対象債権残高に対し、貸倒実績率に基づく今後1年間の予想損失率を乗じて算定した予想損失額を、一般貸倒引当金として計上。
正常先	先	対象債権残高に対し、貸倒実績率に基づく今後1年間の予想損失率を乗じて算定した予想損失額を、一般貸倒引当金として計上。

D C F法の対象先の選定基準は以下のとおりであります。

- 破綻懸念先 …担保・保証で保全されていない部分が1億円以上の先。
- 要管理先 …債権額10億円以上の先。

## 16. 保有株式について

## (1) 保有株式

## 【単体】

(億円)

	取得原価	時価ベース
2022年9月末	537	725
2023年3月末	584	836
2023年9月末	609	993

## (2) 減損処理基準

## 【単体】

30%以上50%未満の下落率だった場合の対応

- ①一律で損失計上
- ②いいえの場合→

はい / いいえ

<回復可能性の有無の判断基準>

金融商品会計に関する実務指針に基づき当行が制定した基準に該当するものについては減損処理しております。

## 当行の地域貢献に関する開示情報

## 1. 大分県内向け貸出金残高、貸出金比率

(単位：億円)

		2023年9月末		2023年3月末	2022年9月末
		2023年3月末比	2022年9月末比		
大分県内向け貸出金残高 (A)	16,196	271	526	15,925	15,670
大分県外向け貸出金残高 (B)	5,060	3	124	5,057	4,936
総貸出金残高 (C)	21,256	274	650	20,982	20,606
大分県内向け貸出金比率 (A)/(C)	76.1%	0.3%	0.1%	75.8%	76.0%

## 2. 大分県内向け業種別貸出金残高、貸出件数

## (1) 大分県内向け業種別貸出金残高

(単位：億円)

	2023年9月末	2023年9月末		2023年3月末	2022年9月末
		2023年3月末比	2022年9月末比		
製造業	819	1	36	818	783
建設業	505	△ 9	40	514	465
卸・小売業	970	△ 2	10	972	960
金融・保険業	81	△ 3	△ 13	84	94
不動産業・物品賃貸業	1,823	28	76	1,795	1,747
各種サービス業	1,950	4	23	1,946	1,927
地公体	2,298	△ 3	△ 79	2,301	2,377
個人	6,259	182	382	6,077	5,877
その他	1,491	73	51	1,418	1,440
合計	16,196	271	526	15,925	15,670

## (2) 大分県内向け業種別貸出件数

(単位：先)

	2023年9月末	2023年9月末		2023年3月末	2022年9月末
		2023年3月末比	2022年9月末比		
製造業	846	26	△ 19	820	865
建設業	1,740	75	31	1,665	1,709
卸・小売業	1,548	△ 16	△ 46	1,564	1,594
金融・保険業	39	2	△ 1	37	40
不動産業・物品賃貸業	1,922	0	15	1,922	1,907
各種サービス業	3,135	13	△ 43	3,122	3,178
地公体	20	0	0	20	20
個人	95,763	△ 228	△ 594	95,991	96,357
その他	761	38	28	723	733
合計	105,774	△ 90	△ 629	105,864	106,403

## 3. 中小企業等貸出金残高、貸出金比率、貸出件数

(単位：億円、先)

		2023年9月末		2023年3月末	2022年9月末	
		2023年3月末比	2022年9月末比			
中小企業等貸出金残高	(A)	15,796	344	805	15,452	14,991
総貸出金残高	(B)	21,256	274	650	20,982	20,606
中小企業等貸出金比率	(A)/(B)	74.3%	0.7%	1.6%	73.6%	72.7%
貸出件数		109,217	△ 58	△ 601	109,275	109,818

(注) 1. 貸出金残高には、特別国際金融取引勘定分は含まれておりません。

2. 中小企業等とは、資本金が3億円(ただし、卸売業は1億円、小売業、飲食業、物品貸業等は5千万円)以下の会社又は常用する従業員が300人(ただし、卸売業、物品貸業等は100人、小売業、飲食業は50人)以下の企業等であります。

## 4. 大分県内の信保付(大分県信用保証協会保証付)貸出金残高

(単位：億円)

		2023年9月末		2023年3月末	2022年9月末	
		2023年3月末比	2022年9月末比			
当行の大分県内信保付貸出金残高	(A)	765	△ 76	△ 123	841	888
大分県信用保証協会保証債務残高	(B)	2,267	△ 187	△ 275	2,454	2,542
大分県全体に占める 当行の信保付貸出金の割合	(A)/(B)	33.7%	△ 0.6%	△ 1.2%	34.3%	34.9%

## 5. 大分県内向け個人貸出金残高(含む住宅ローン)、貸出金比率、貸出件数

## (1) 大分県内向け個人貸出金残高、貸出金比率

(単位：億円)

		2023年9月末		2023年3月末	2022年9月末	
		2023年3月末比	2022年9月末比			
無担保ローン残高	(A)	575	9	21	566	554
有担保ローン残高	(B)	6,190	170	357	6,020	5,833
個人ローン残高	(A)+(B)=(C)	6,765	179	378	6,586	6,387
総貸出金残高	(D)	16,196	271	526	15,925	15,670
個人貸出金比率	(C)/(D)	41.8%	0.4%	1.0%	41.4%	40.8%

## (2) 大分県内向け個人貸出金件数

(単位：件)

		2023年9月末		2023年3月末	2022年9月末	
		2023年3月末比	2022年9月末比			
無担保ローン件数	(A)	141,898	△ 192	△ 965	142,090	142,863
有担保ローン件数	(B)	32,297	450	926	31,847	31,371
個人ローン件数	(A)+(B)	174,195	258	△ 39	173,937	174,234





# 決算ハイライト

---

## 2023年9月期決算について

# 目次

1. 2023年9月期決算の概要	P. 1
2. 2023年9月期 単体損益の状況	P. 2
3. 業務粗利益・資金利益の状況	P. 3
4. 与信費用・不良債権の状況	P. 4
5. 貸出金の状況	P. 5
6. 総預金の状況	P. 6
7. 有価証券の状況	P. 7
8. 2024年3月期 業績予想	P. 8

(注) 本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。  
こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、不確実性を内包するものです。  
将来の業績は、経営環境の変化等により変動する可能性があることにご留意ください。

(注) 本資料の増減額(率)につきましては、本資料上の開示単位にて算出しております。

## 1. 2023年9月期連結経営成績

	2023年9月期	2022年9月期	増減
連結経常収益	37,331	38,017	▲ 686
連結経常利益	4,411	4,464	▲ 53
親会社株主に帰属する中間純利益	3,210	2,845	365

(単位：百万円)

直近予想	予想比	
35,400	5.5%	1,931
3,800	16.1%	611
2,600	23.5%	610

## (参考) 2024年3月期連結業績予想

(単位：百万円)

	2024年3月期	2023年3月期	増減
連結経常収益	68,100	72,905	▲ 4,805
連結経常利益	8,100	7,796	304
親会社株主に帰属する当期純利益	5,400	5,409	▲ 9

## 2. 2023年9月期経営成績

	2023年9月期	2022年9月期	増減
経常収益	31,768	32,825	▲ 1,057
(コア業務純益)	4,814	9,493	▲ 4,679
経常利益	3,743	3,971	▲ 228
中間純利益	2,769	3,108	▲ 339

(単位：百万円)

直近予想	予想比	
29,900	6.2%	1,868
3,500	37.5%	1,314
3,200	17.0%	543
2,200	25.9%	569

## (参考) 2024年3月期業績予想

(単位：百万円)

	2024年3月期	2023年3月期	増減
経常収益	56,900	62,010	▲ 5,110
(コア業務純益)	9,100	17,260	▲ 8,160
経常利益	7,000	6,515	485
当期純利益	4,600	5,156	▲ 556

## 3. 自己資本比率

	2023年9月末	2023年3月末	増減
連結	10.35%	10.40%	▲ 0.05%
単体	9.53%	9.60%	▲ 0.07%

## 4. 配当の状況 (基準日ベース)

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
中間配当金	40円00銭	40円00銭	40円00銭	45円00銭
期末配当金	40円00銭	40円00銭	50円00銭	45円00銭 <sup>※</sup>
年間配当	80円00銭	80円00銭	90円00銭	90円00銭 <sup>※</sup>
配当性向	44.55%	27.07%	27.54%	30.90% <sup>※</sup>

(※) 予想数値

- (1) 当中間期は、連結・単体ともに経常利益段階で4期ぶりの減収減益決算となりました。
- (2) 当行単体の経常収益は、貸出金利息及び株式等売却益が増加したものの、国債等債券売却益が減少したことから、前年同期比10億57百万円減少しました。
- (3) 一方、経常費用は、外貨調達コスト及び物件費が増加したものの、国債等債券売却損が減少したことから、前年同期比8億29百万円減少しました。
- (4) この結果、経常利益は、前年同期比2億28百万円減少しました。また、中間純利益は、経常利益及び特別利益の減少などにより、前年同期比3億39百万円の減少となりました。
- (5) 自己資本比率は、単体で2023年3月末対比0.07%低下し、9.53%となりました。
- (6) 2024年3月期の単体の業績は、経常収益569億円、経常利益70億円、当期純利益46億円となる見込みです。

(単位：百万円)

	2023年 9月期	2022年9月期比	増減率	2022年 9月期
経常収益 ①	31,768	▲ 1,057	▲ 3.2%	32,825
コア業務粗利益 ②	18,310	▲ 3,951	▲ 17.7%	22,261
資金利益	19,210	▲ 1,041		20,251
資金運用収益	21,215	438		20,777
資金調達費用	2,004	1,478		526
役務取引等利益	3,195	▲ 71		3,266
役務取引等収益	4,263	92		4,171
役務取引等費用	1,068	164		904
その他業務利益 (除く5勘定戻)	▲ 4,095	▲ 2,839		▲ 1,256
その他業務収益 ( // )	—	—		—
その他業務費用 ( // )	4,095	2,839		1,256
経 費 (除く臨時費用処理分) ③	13,495	728		12,767
コア業務純益 (②-③) ④	4,814	▲ 4,679	▲ 49.3%	9,493
除く投資信託解約損益	3,999	▲ 1,136		5,135
与信費用 ⑤	▲ 1,135	▲ 527		▲ 608
一般貸倒引当金繰入額	▲ 125	235		▲ 360
個別貸倒引当金繰入額	▲ 968	▲ 605		▲ 363
その他	▲ 41	▲ 156		115
有価証券関係損益 ⑥	▲ 2,174	4,053		▲ 6,227
国債等債券損益 (5勘定戻)	▲ 5,159	2,189		▲ 7,348
株式等損益 (3勘定戻)	2,985	1,864		1,121
その他臨時損益 ⑦	▲ 31	▲ 128		97
経常利益 (④-⑤+⑥+⑦) ⑧	3,743	▲ 228	▲ 5.7%	3,971
特別損益 ⑨	▲ 40	▲ 436		396
税引前中間純利益	3,703	▲ 664		4,367
法人税等合計	933	▲ 325		1,258
中間純利益 ⑩	2,769	▲ 339	▲ 10.9%	3,108

## 【主な増減要因等】

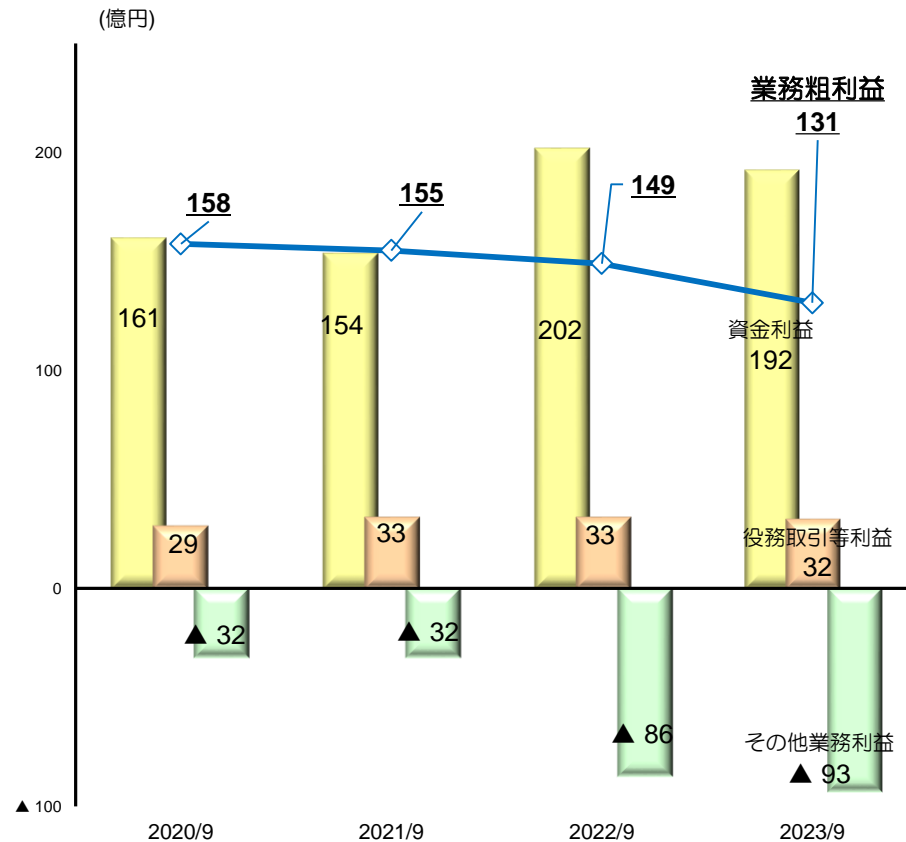
① 経常収益 (前年同期比▲1,057百万円)	貸出金利息及び株式等売却益が増加したものの、国債等債券売却益の減少により減収。
② コア業務粗利益 (前年同期比▲3,951百万円)	外貨調達コストの増加による資金利益及びその他業務利益(除く5勘定戻)の減少により減益。
③ 経 費 (前年同期比+728百万円)	野村アライアンス関連の一時費用の計上による物件費の増加に加えて、ベースアップの実施等により人件費が増加。
④ コア業務純益 (前年同期比▲4,679百万円)	コア業務粗利益の減少及び経費の増加により、本業部分の収益指標は減益。
⑤ 与信費用 (前年同期比▲527百万円)	個別貸倒引当金の取崩等により、貸倒引当金戻入益1,094百万円を計上。
⑥ 有価証券関係損益 (前年同期比+4,053百万円)	国債等債券損益(5勘定戻)及び株式等損益(3勘定戻)ともに増加。
⑧ 経常利益 (前年同期比▲228百万円)	コア業務純益が外貨調達コストの増加により減少したものの、有価証券関係損益が改善し与信費用が減少したことから、前年同期比228百万円の減益に止まった。
⑨ 特別損益 (前年同期比▲436百万円)	前年同期に子会社の吸収合併による特別利益(抱合せ株式消滅差益)を計上した反動により減少。
⑩ 中間純利益 (前年同期比▲339百万円)	経常利益及び特別損益の減少により減益。

## 【資金運用収益の主な増減要因】

(単位：百万円)

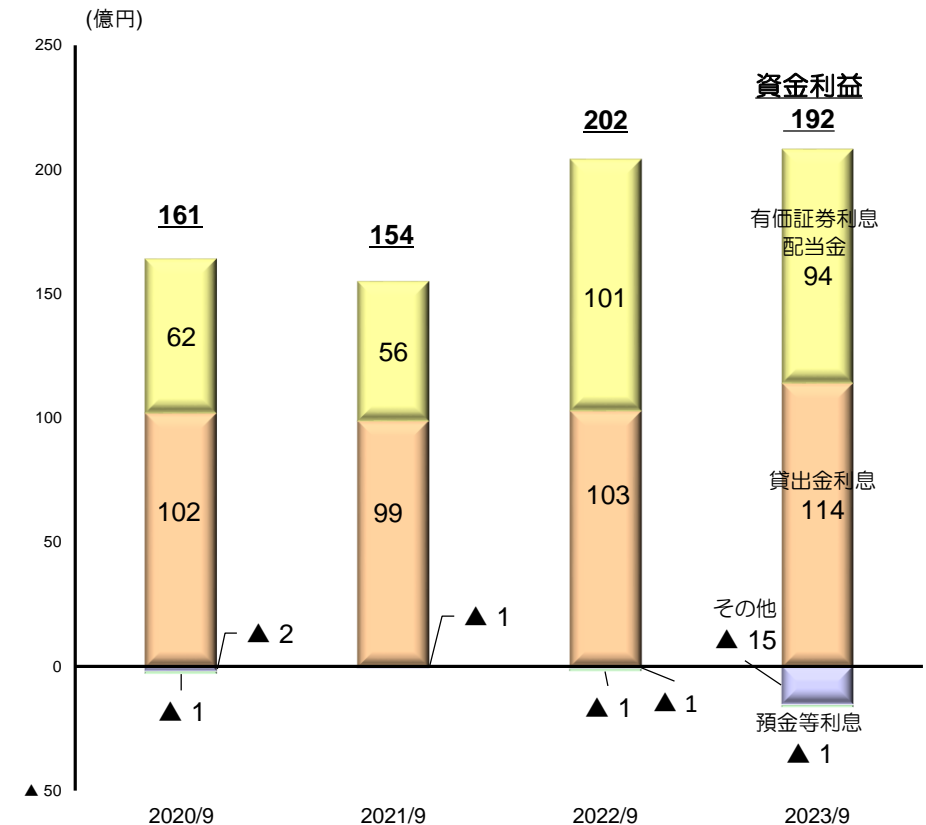
資金運用収益	438		
貸出金利息	1,146	(平残要因)	468
有価証券利息配当金	▲ 680	(利回要因)	678
		(平残要因)	616
		(利回要因)	▲ 1,296

## 業務粗利益の推移



1. 資金利益は、有価証券利息配当金の減少及び外貨調達コストの増加等により、前年同期比10億円減少し、192億円となりました。
2. 役員取引等利益は、住宅ローン等保険料の増加等により、前年同期比1億円減少し、32億円となりました。
3. その他業務利益は、国債等債券売却益の減少等により、前年同期比7億円減少しました。

## 資金利益の内訳推移



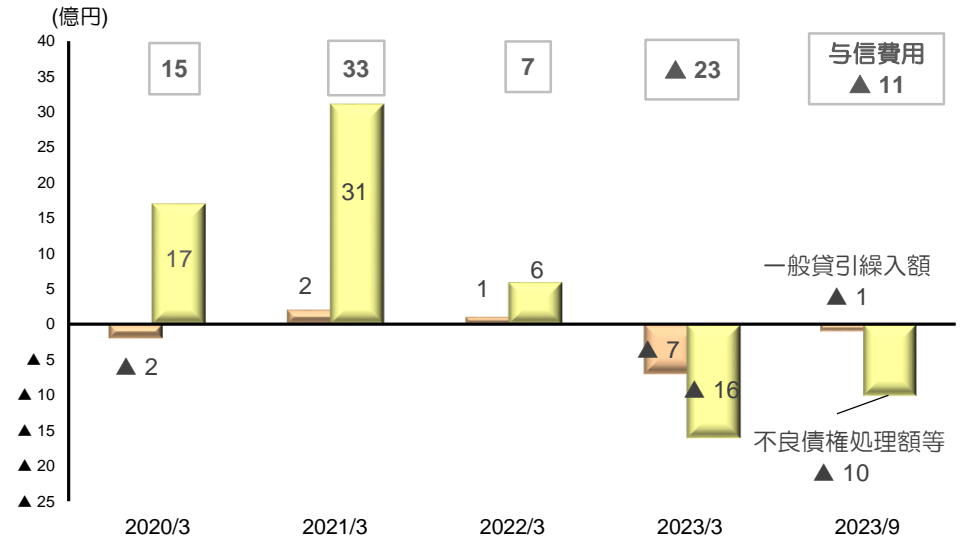
4. 貸出金利息は、貸出金平残の増加に加えて、利回の上昇により前年同期比11億円増加し、114億円となりました。
5. 有価証券利息配当金は、前年同期のリバランスに投資信託解約益を活用した反動減により前年同期比7億円減少し、94億円となりました。
6. 預金等利息は、前年同期と同水準の1億円となりました。

## 与信費用

	2023年9月期	2022年9月期	(単位：百万円) 増 減
与信費用	▲ 1,135	▲ 608	▲ 527
一般貸倒引当金繰入額	—	—	—
不良債権処理額	▲ 41	115	▲ 156
貸出金償却	—	—	—
個別貸倒引当金繰入額	—	—	—
延滞債権等売却損	—	—	—
その他	▲ 41	115	▲ 156
貸倒引当金戻入益	1,094	723	371
償却債権取立益	—	—	—

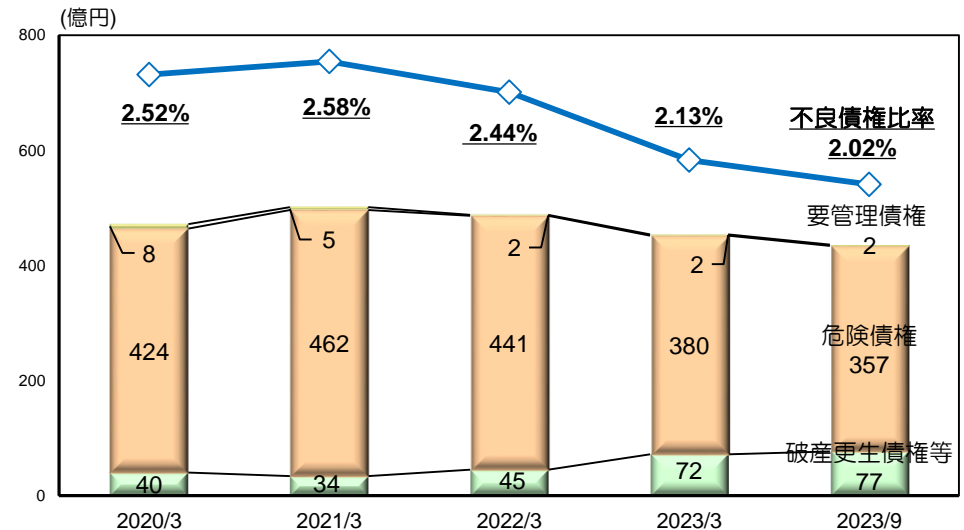
(注) 与信費用＝一般貸倒引当金繰入額＋不良債権処理額－貸倒引当金戻入益－償却債権取立益

1. 一般貸倒引当金繰入額は、引当率の低下等により取崩となりました。
2. 個別貸倒引当金繰入額は、引当対象債権の減少やお取引先の債務者区分の変動等により取崩となりました。
3. その結果、貸倒引当金戻入益が10億94百万円となりました。



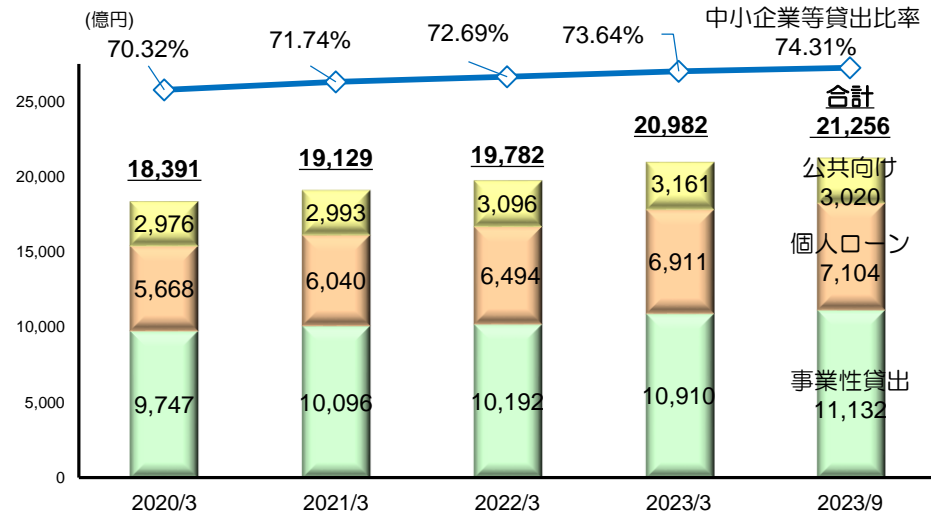
## 金融再生法開示債権

	2023年9月末	2023年3月末	(単位：百万円) 増 減
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	7,698	7,183	515
危険債権	35,734	38,015	▲ 2,281
要管理債権	162	169	▲ 7
小 計	43,596	45,367	▲ 1,771
正常債権	2,105,592	2,076,203	29,389
合 計	2,149,188	2,121,571	27,617
不良債権比率 (%)	2.02	2.13	▲ 0.11

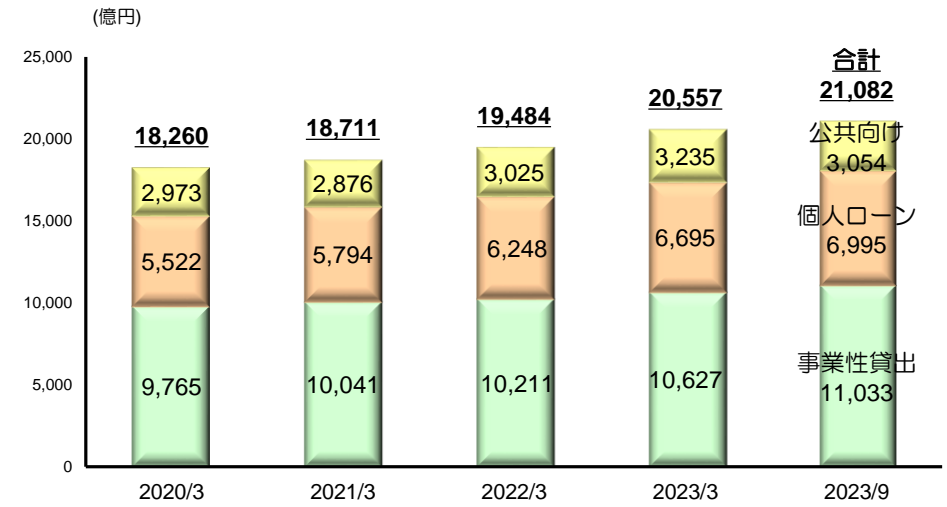


1. 金融再生法開示債権残高は、前期末比で17億71百万円減少し、435億96百万円となりました。
2. 不良債権比率は、前期末比0.11%低下し、2.02%となりました。

## 貸出金末残推移



## 貸出金平残推移



	2023年9月末				2023年3月末	2022年9月末
	2023年3月末比		2022年9月末比			
	増減率	増減額	増減率	増減額		
総貸出金	21,256	1.3%	274	3.1%	20,982	20,606
事業性貸出金	11,132	2.0%	222	5.0%	10,910	10,600
県内	7,142	1.4%	103	3.3%	7,039	6,912
県外	3,990	3.0%	119	8.1%	3,871	3,688
個人ローン	7,104	2.7%	193	5.9%	6,911	6,705
公共向け	3,020	▲ 4.4%	▲ 141	▲ 8.5%	3,161	3,301

	2023年9月末				2023年3月末	2022年9月末
	2023年3月末比		2022年9月末比			
	増減率	増減額	増減率	増減額		
総貸出金	21,082	2.5%	525	4.4%	20,557	20,190
事業性貸出金	11,033	3.8%	406	5.9%	10,627	10,409
県内	7,111	1.9%	138	3.0%	6,973	6,903
県外	3,922	7.3%	268	11.8%	3,654	3,506
個人ローン	6,995	4.4%	300	6.0%	6,695	6,596
公共向け	3,054	▲ 5.5%	▲ 181	▲ 4.1%	3,235	3,185

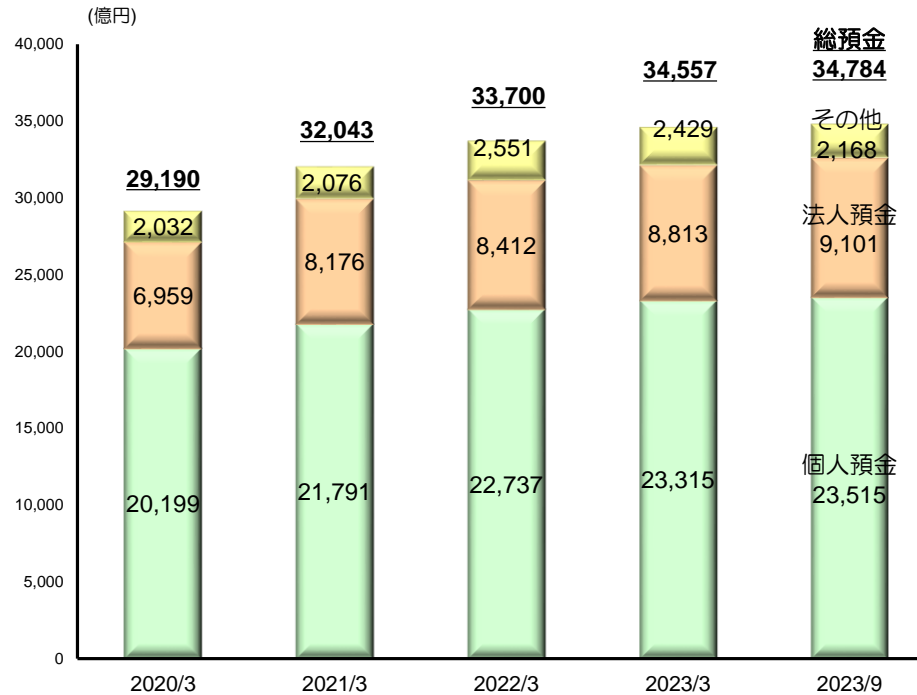
- 貸出金は、事業性貸出金及び個人ローンの増加により、前期末比274億円増加し、2兆1,256億円（増加率1.3%）となりました。
- 個人ローンは、住宅ローンが増加したことから、前期末比193億円増加し、7,104億円（増加率2.7%）となりました。
- 貸出金平残では、前期末比525億円増加し、2兆1,082億円（増加率2.5%）となりました。
- 中小企業等貸出残高は、前期末比344億円増加し、1兆5,796億円となりました。

【ご参考】	2023年9月末	2023年3月末比	2022年9月末比	2023年3月末	2022年9月末
中小企業等貸出残高(億円)	15,796	344	805	15,452	14,991
中小企業等貸出比率(%)	74.3	0.7	1.6	73.6	72.7

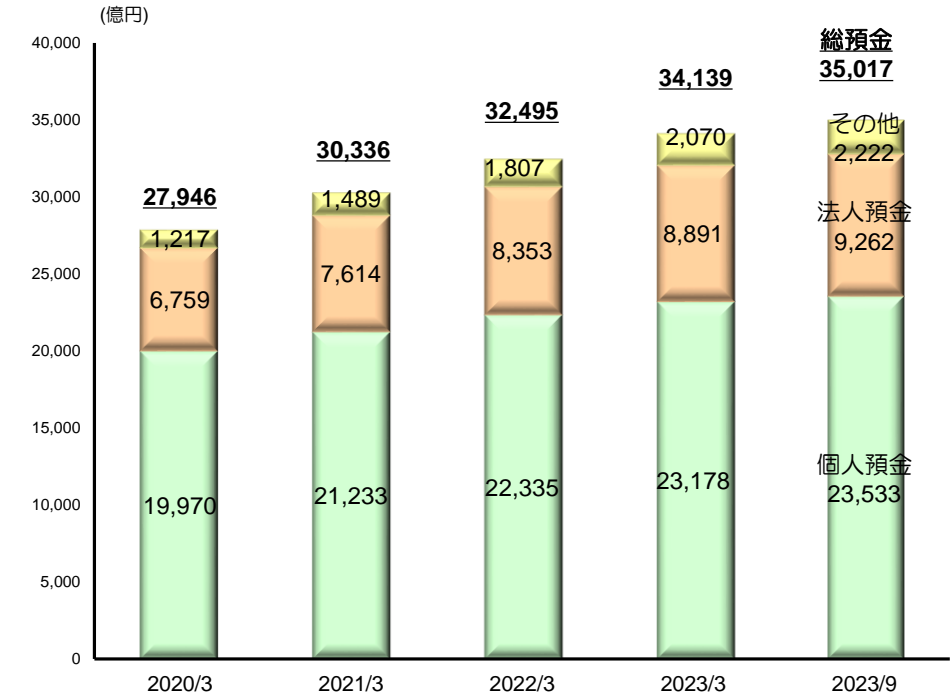
※中小企業等とは、資本金が3億円(ただし、卸売業は1億円、小売業、飲食業、物品賃貸業等は5千万円)以下の会社又は常用する従業員が300人(ただし、卸売業、物品賃貸業等は100人、小売業、飲食業は50人)以下の企業等です。



## 総預金末残推移



## 総預金平残推移



(単位：億円)

	2023年9月末				2023年3月末	2022年9月末	
	2023年3月末比		2022年9月末比				
	増減率	増減額	増減率	増減額			
総預金	34,784	0.6%	227	3.3%	1,139	34,557	33,645
個人預金	23,515	0.8%	200	1.9%	451	23,315	23,064
法人預金	9,101	3.2%	288	5.6%	485	8,813	8,616
その他	2,168	▲ 10.7%	▲ 261	10.3%	203	2,429	1,965
預金等	36,094	1.5%	540	3.0%	1,080	35,554	35,014

(単位：億円)

	2023年9月末				2023年3月末	2022年9月末	
	2023年3月末比		2022年9月末比				
	増減率	増減額	増減率	増減額			
総預金	35,017	2.5%	878	2.5%	866	34,139	34,151
個人預金	23,533	1.5%	355	2.1%	501	23,178	23,032
法人預金	9,262	4.1%	371	4.3%	390	8,891	8,872
その他	2,222	7.3%	152	▲ 1.1%	▲ 25	2,070	2,247
預金等	36,376	2.5%	914	2.4%	863	35,462	35,513

1. 総預金末残は、前期末比227億円増加し、3兆4,784億円（増加率0.6%）となりました。
2. 譲渡性預金を加えた預金等では、前期末比540億円増加し、3兆6,094億円（増加率1.5%）となりました。
3. 預金等平残も、前期末比914億円増加し、3兆6,376億円（増加率2.5%）となりました。



## 有価証券未残

(単位：億円)

	2023年			2023年 3月末	2022年 9月末
	9月末	2023年3月末比	2022年9月末比		
有価証券	13,494	▲ 429	573	13,923	12,921
国債	2,050	▲ 85	▲ 165	2,135	2,215
地方債	3,036	▲ 109	172	3,145	2,864
社債	2,483	▲ 31	16	2,514	2,467
株式	994	157	268	837	726
その他	4,931	▲ 361	282	5,292	4,649
外国証券	1,869	▲ 461	▲ 366	2,330	2,235
投資信託等	3,062	100	648	2,962	2,414

1. 有価証券は、外国証券等の減少により前期末比429億円減少し、1兆3,494億円となりました。

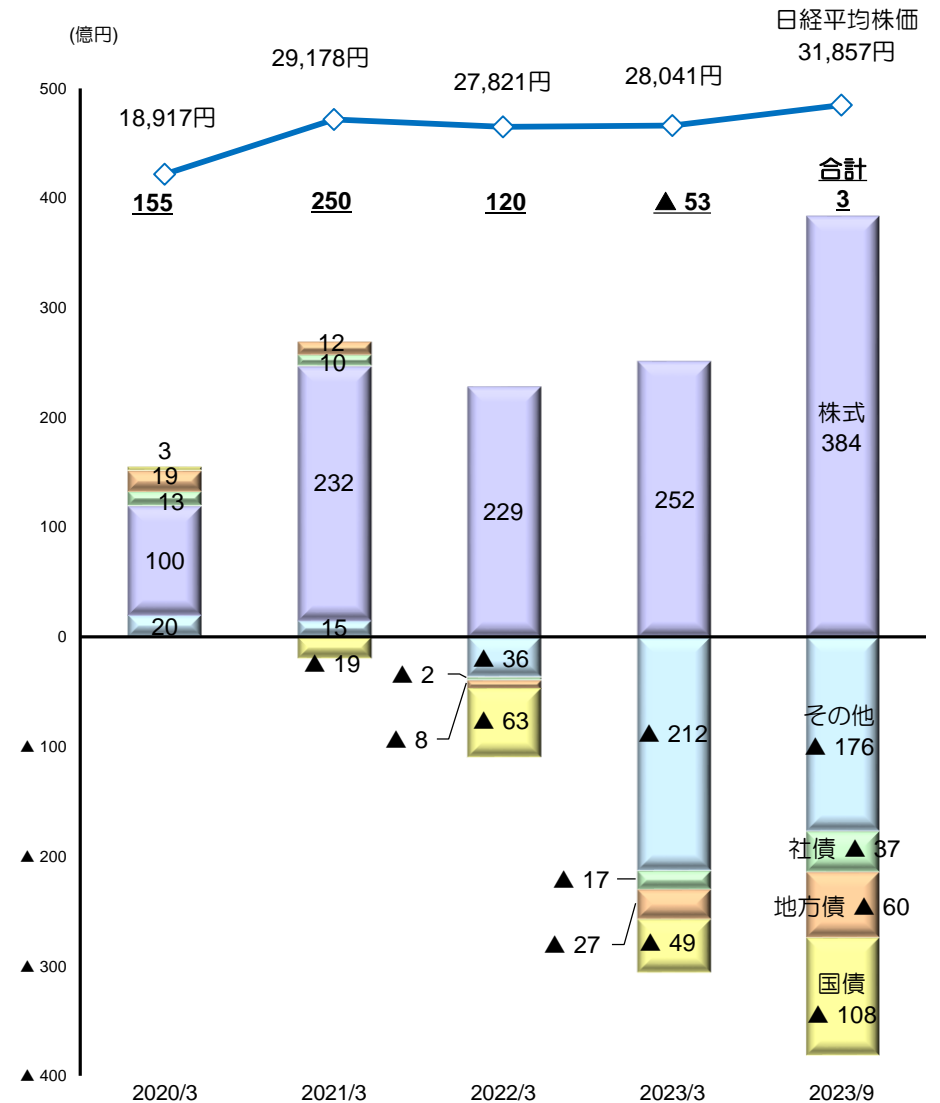
## 有価証券の評価損益

(単位：億円)

	2023年9月末			2023年3月末			増減 評価損益 (A)-(B)
	評価損益 (A)	評価損益		評価損益 (B)	評価損益		
		評価益	評価損		評価益	評価損	
有価証券	3	449	446	▲ 53	314	368	56
株式	384	396	11	252	274	22	132
債券	▲ 205	4	210	▲ 93	18	112	▲ 112
その他	▲ 176	48	224	▲ 212	21	233	36
外国証券	▲ 60	4	63	▲ 26	8	34	▲ 34
投資信託等	▲ 116	44	160	▲ 186	12	199	70

2. 国内外の金利上昇に伴い債券価格は下落しましたが、株式の評価損益が堅調に推移したことから、有価証券の評価損益全体では前期末比56億円増加し、3億円のプラスとなりました。

## 有価証券評価損益の推移



## 【単体】

(単位：億円)

	2024年3月期予想	2023年3月期実績	増 減
経常収益	569	620	▲ 51
コア業務粗利益	359	430	▲ 71
資金利益	378	410	▲ 32
役務取引等利益	62	68	▲ 6
その他業務利益(除く5勘定戻)	▲ 81	▲ 48	▲ 33
経費(除く臨時費用処理分)	268	258	10
コア業務純益	91	172	▲ 81
業務純益	34	31	3
国債等債券損益(5勘定戻)	▲ 57	▲ 141	84
株式等損益(3勘定戻)	30	7	23
与信費用	▲ 5	▲ 23	18
うち一般貸倒引当金繰入額	▲ 1	▲ 7	6
うち不良債権処理額	▲ 4	▲ 16	12
経常利益	70	65	5
当期純利益	46	51	▲ 5

## 【連結】

(単位：億円)

	2024年3月期予想	2023年3月期実績	増 減
経常収益	681	729	▲ 48
経常利益	81	77	4
親会社株主に帰属する当期純利益	54	54	0

## 経常収益：前期比▲51億円

前期に投資信託解約益や国債等債券売却益が膨らんでいた反動により減収となる見込み。

## コア業務粗利益：前期比▲71億円

有価証券利息配当金が減少し外貨調達コストが増加する見通しであることから減少する見込み。

## 経費：前期比+10億円

人財に関する投資やIT投資等について積極的に実施していく計画であり増加する見込み。

## コア業務純益：前期比▲81億円

コア業務粗利益の減少に加えて、経費の増加により減益となる見込み。

## 与信費用：前期比+18億円

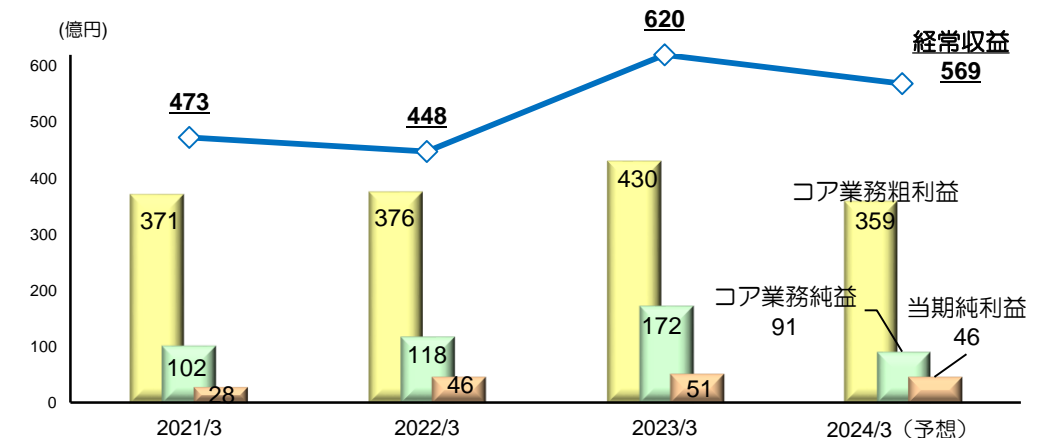
前期の引当金の取崩額が大きかったことに加えて、原材料の高騰等による事業コストの増加など、お取引先の業況へのマイナス要因が払拭されていないことから増加する見込み。

## 経常利益：前期比+5億円

コア業務純益は減少するものの、国債等債券損益(5勘定戻)の改善により増加する見込み。

## 当期純利益：前期比▲5億円

経常利益は増加するものの、前期に特別利益(抱合せ株式消滅差益)を計上した反動等により減益となる見込み。



※業績予想については、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。